

第三十一回

能心

たかさぎ



仕舞 班女
舞アト
観世 喜正

狂言 月見座頭
山本 東次郎

能 融
梅若 玄祥

チケット発売

6.25 [土]

平成28年

11月5日[土] 午後2時 開場
午後3時 開演

群馬音楽センター

〒370-0829 高崎市高松町28番地2 TEL: 027-322-4527

入場料＝前売券 4,000円、当日券 4,500円、自由席 1,000円（当日 1,500円）、学生席 高校生以下は自由席無料

*前売り完売の場合は、当日券の販売をおこないませんのでご了承ください

主催＝たかさぎ能(新能)実行委員会／共催＝高崎商工会議所

後援＝(一社)高崎観光協会、高崎市教育委員会、東日本旅客鉄道株式会社 高崎支社、上毛新聞社、

群馬経済新聞社、群馬テレビ、ジェイコム群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎

お問合せ＝たかさぎ能(新能)実行委員会 TEL: 090-9378-8224(実行委員会直通)

URL <http://www.takasaki-nou.jp/> E-mail info@takasaki-nou.jp

プレイガイド

A.群馬音楽センター 027-322-4527/B.高崎市文化会館 027-325-0681/C.高崎シティギャラリー 027-328-5050

D.箕郷文化会館 027-371-7211/E.新町文化ホール 0274-42-9133/F.榛名文化会館 027-374-5001

G.吉井文化会館 027-387-3211/H.高崎市倉渕支所(地域振興課内) 027-378-4522/I.高崎市群馬支所(地域振興課内) 027-373-1212

*A～Iのプレイガイド(営業時間8:30-17:15)での販売は、窓口のみです。*A・B=休(月) D・E・F・G=休(月・火) H・I=休(土・日・祝)*未就学児童の入場はご遠慮ください。

*都合により、出演者、演目等が変更になる場合があります。*公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し・交換等はいたしかねますので、ご了承ください。

午後三時開演

(演目解説は午後二時二十分より)

演目解説

休憩

〔仕舞〕

班女 はんじょ
舞アト

今宵は中秋の名月、目は見えなくてもせめて虫の音に秋の夜の美しさを味わいたいと、座頭は一人、月の冴え渡る洛外の野に出て、秋の虫の音を楽しんでいきます。そこへ来合わせた上京の男は、座頭の月見とは珍しいと声をかけます。二人は男の持参の酒を酌み交わして意気投合、謡い舞い、楽しい一時を過ごします。けれども、上機嫌で別れた後、上京の男はふといたずら心を起こして踵を返し、別人を装って座頭を突き倒し、罵声を浴びせて立ち去るのです。そうとは知らぬ座頭は…。

融

休憩

〔狂言〕

月見座頭 つきみざとう

東国の僧が都に上り六条河原院を訪れると田子を担った汐汲の老人と出会う。海辺でもないのにどういふ訳か僧が尋ねると、老人は昔「こは源融」みなもとのとおるの邸宅で、ここで難波より海水を運び塩を焼いて風流を楽しんでいた為だと説明する。そして老人はあたりの名所を僧に教え、また汐汲に出かけていくがその姿はどこかに消える。

〔能〕

融 とおる

(終了予定 午後五時頃)

僧が旅寝をしていると夜半過ぎに目の前に源融が栄華を極めた頃の華やかな姿で現れ、源融は昔を偲び名目の下で遊樂遊舞を奏で、夜明けの月が白むと共にその姿も消えて行く。



狂言：「月見座頭」山本東次郎 (撮：神田佳明)



能：「融」梅若玄祥 (撮：吉越研)

梅若 玄祥 うめわかげんしょう

昭和23年生まれ シテ方観世流
重要無形文化財各個指定(人間国宝)
昭和26年 「鞍馬天狗」子方にて初舞台
昭和40年 「道成寺」を披く
昭和62年 芸術選奨文部大臣新人賞受賞
平成3年 秘曲「姥捨」を披く
平成8年 観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
平成11年 日本芸術院賞受賞
平成18年 紫綬褒章受賞
平成19年 芸術院会員就任



山本 東次郎 やまもと とうじろう

昭和12年生まれ 狂言方大藏流(山本東次郎家四世)
重要無形文化財各個指定(人間国宝)
昭和39年 芸術祭奨励賞受賞
平成4年 芸術選奨文部科学大臣賞受賞
平成6年 観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
平成10年 紫綬褒章受賞
平成13年 エクソンモービル音楽賞(邦楽部門)受賞
平成19年 日本芸術院賞受賞

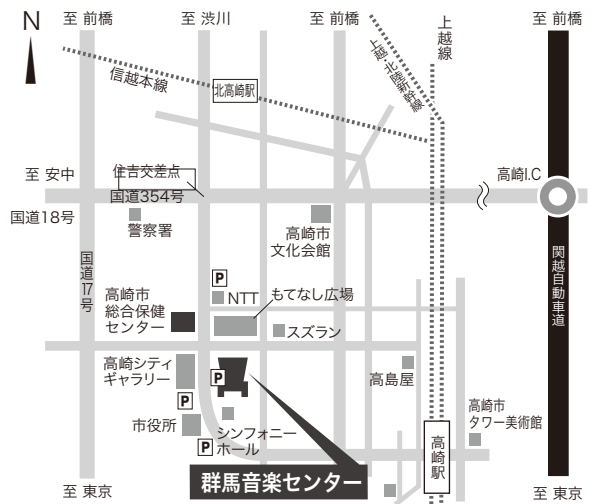


観世 喜正 かんぜ よしまさ

昭和45年生まれ シテ方観世流
重要無形文化財総合指定
慶応大学法学部卒業。父・観世喜之に師事。
東京を中心に、全国の公演、海外公演に多数出演。普及活動や講演も多く行う。また謡曲のCD化、能公演のDVD作成など能楽教材のソフト化にも積極的に取り組む。札幌から長崎まで国内十数か所で指導に当たる。
2000年より始めたのうの講座は、解説のみならず体験教室、異種共演など多角的アプローチで能と日本文化の紹介・普及に取り組む。



Access



群馬音楽センター
〒370-0829 群馬県高崎市高松町28-2 Tel.027-322-4527

たかさき能勉強会 能に親しむ (先着各100名・会費無料)

「歌枕の地 — 能の舞台となった高崎 —」
2016年7月10日(日) 10:00am~11:30am
講師：熊浩浩 (群馬県立女子大学群馬学センター 副センター長)
場所：高崎市総合保健センター 2階第1会議室(高松町5-28)
受付期間：6月25日まで(詳細は広報高崎2016.6.1号掲載)

「今年の公演について」
2016年10月 初旬予定 講師：未定
「たかさき能」により親しみ、楽しんでいただくために、今年の公演内容を説明
(詳細は決まり次第ホームページにて掲載。もしくは広報高崎2016.9.1号掲載予定)

両イベントのお申し込み・お問い合わせ
住所・氏名・電話番号を明記の上、下記まで往復ハガキ・E-mailにてお申し込みください。
詳細はたかさき能ホームページ、広報高崎にてご確認ください

〔たかさき能(新能)実行委員会〕
〒370-0849 群馬県高崎市八島町265 (株)ラジオ高崎
TEL:090-9378-8224(実行委員会直通) E-mail:info@takasaki-nou.jp
たかさき能ホームページ <http://www.takasaki-nou.jp>

*都合により、日程・内容が変更になる場合があります。